

学級活動（１）学習指導案

府中市立府中小学校
指導者 教諭 宮根 紀恵

1 日時 平成27年9月11日（金）

2 学年 第2学年1組 34名

3 議題「係活動を見直そう」

4 議題について

（１）児童の実態

本学級の児童は明るく元気で、何事にも一生懸命に取り組む姿が多く見られる。日直や給食・掃除などの当番活動には意欲的に取り組み、教師や友達の手伝いを進んで行おうとする児童も多い。授業中は、自分の思いや考えを伝えようとしたり、班活動では、リーダーを中心に前向きに協力しようとしたりする児童がほとんどである。

しかし、昨年度、当番活動しか経験していなかった本学級の児童は、決められた仕事や当番はきちんとするが、学級をよりよくしようと進んで行動する姿は少ない。中には、集団の一人としての意識が低く、人任せにしている児童もいる。

本学級は、年度当初に、個人でも集団でも、きらきらかがやく学級になろうと「きらきら☆2の1～話を聞く子・やさしい子・あきらめない子～」という学級目標を立てて取り組んでいる。学級活動については、学級活動（１）「学級会を始めよう」の中で、オリエンテーションを行い、扱う議題の条件や話合いの進め方について共通理解を図った。また、「係活動をつくろう」「お楽しみ会の計画を立てよう」など、学級生活をより豊かにする議題について話合いを行ってきた。これらの話合いを通して、自分のクラスを大切に、「クラスのみんなで楽しく遊びたい」「学級のためのために力を合わせて係活動をしたい」などの学級全体を思う声が聞かれるようになった。また、楽しいクラスになるように進んで掲示物を作ったり、外遊びやあいさつ運動を呼びかけたりするなど、より楽しくなる工夫を考え実践する姿が見られるようになった。

話合いでは、司会グループを輪番制で行うことで、司会グループの役割を学級の全員が理解し、積極的に自分の役割を遂行する姿が見られるようになった。自分たちで話合いを進めていく中で、徐々に友達の意見を聞いたり、約束に従って自分の意見を言ったりできるようになってきた。しかし、「恥ずかしい」「理由が思い浮かばない」などの理由から意見が言えない児童もいる。また、自分の思いを述べるだけで友達の意見を耳を傾けられなかったり、自分の意見と比較して聞くことができなかったりするため、集団決定に時間がかかることもある。

（２）議題選定の理由

2年生になって当番活動と区別した係活動を始め1学期間活動をしてきた。児童は、係活動への理解が深まり、自分のやりたいことが見付かってきたため、自分の得意なことを係活動にして学級全体が楽しくなるようにしたいという思いをもつようになった。本議題は、自分の得意なことを生かして「もっと楽しくなるような係活動をしたい」という児童の提案によるものである。

他に「2学期のお楽しみ会をしたい」「掃除を上手にできるようにしたい」などの提案もあったが、計画委員会において「2学期も楽しくなるように係活動を工夫したい」という考えの基、今回の議題を選定し、その後全員に諮り、決定した。

「どんな係を作るか」「係のメンバーはどうするか」の2点について、互いの意見を尊重し合いながら係を決定し、協力して活動することを通して、学級内の人間関係を深めるとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を育てていきたい。

また、1学期に学級会を行う中で、司会グループが司会進行に悩むことがあり、計画委員会の必要性に少しずつ気付く児童もいた。今回、初めて計画委員会を立ち上げ、教師が中心となり計画委員会での活動計画の作成を行った。今後は、議題の選定の仕方や計画の作成など共通理解を図り、児童の力で円滑に話合いを進められるようにする必要がある。

5 第1学年及び第2学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しむために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しむことの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

6 事前の活動

【計画委員会の活動】

日 時	児童の活動	指導上の留意点	めざす児童の姿と 評価方法
9月2日(水) 大休憩	・わくわくボックス(議題ボックス)を開けて、議題を選定する。 (提案された議題) ①お楽しみ会をしたい ②掃除を上手にできるようにしたい	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。 ・選定した議題について全員に知らせ、承認を得る。	【関心・意欲・態度】 ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 〈議題カード・観察〉
9月8日(火) 大休憩	・活動計画を作成する。	・みんなが理解できる提案理由になるように提案者に助言する。 ・話し合いの見通しがもてるようにする。	【知識・理解】 ・係活動を見直すために話し合わなければならないことを理解している。 〈計画委員会活動計画〉

【学級全体の活動】

日 時	児童の活動	指導上の留意点	めざす児童の姿と 評価方法
9月2日(水) ～7日(月)	・作りたい係を考え、掲示板上に掲示する。	・今までの係活動を振り返らせ、みんなが楽しくなるような係を考えさせる。 ・自分の好きなことや得意なことが生かせるような係を見付けさせる。	【関心・意欲・態度】 ・係活動に興味をもち、進んで係を見付けようとしている。 〈観察〉
9月8日(火) ～10日(木)	・掲示された係活動を見て、「どんな活動ができるか」「自分の得意なことが生かせる係はないか」を考えておく。	・掲示板上をよく見ておくように声をかける。 ・みんなが楽しくなる活動内容になっているか考えさせる。	

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- これまでの係の活動を振り返り、学級が楽しくなるように、複数の係の活動内容を合わせたり、よいところを取り入れて新しい係活動にしたりするなどの創意工夫を話し合うことができる。
- 友達の発表や教師の話をよく聞き、自分の考えをはっきりと発表することができる。

(2) 児童の活動計画

だい9回 わくわく会（がっきゅう会）かつどうけいかく 9月11日（金） 4時間目			
ぎだい	かかりかつどうを見なおそう		
やくわり	しかい	ふくしかい	こくばん ノート
ていあんりゆう	2学期も2の1のみんながもっと楽しくなるようにしたいから		
めあて	2学期も楽しくなるようにかかりかつどうをくふうしよう。		
きまっていること	①みんなが楽しくなるかかりをつくること ②3人いじょうでかつどうすること ③1週間に1回いじょうかつどうすることです。		
話合いのじゅんじょ（時間）		気を付けること	じゅんび
1 はじめのことは	2 けいかくいいんかいのしょうかい 3 ぎだいのかくにん 4 ていあんりゆうやめあてのかくにん 5 きまっていることのかくにん	これから第9回わくわく会（学級会）をはじめます。 ・みんなに聞こえるように大きな声で言う。 しかいの〇〇です。 ふくしかいの〇〇です。 こくばん書記の〇〇です。 ノート書記の〇〇です。 ・自分のしごとをたしかめましょう。 今日のぎだいは、「2学期も楽しくなるようにかかりかつどうをくふうしよう」です。 ・今日のぎだいについてかくにんする。こくばんにはってわすれないようにする。 ぎだいを出した〇〇さん、りゆうを言ってください。 ・大きな声でわかりやすくはっぴょうする。	せつめいの紙
6 話合い ①どんなかかりをつくるか話し合う。		はじめに、どんなかかりをつくるか話合います。 ・ていあんりゆうややくそくにそって、みんなが楽しくなるかかりを話し合ってもらおう。 ・1がっきのかかりかつどうを思い出し、楽しくするためのくふうを出し合ってもらおう。 つぎに、かかりのメンバーをきめます。自分のしたいかかりをきめてください。 ・人数が多い時や少ない時は、合体したり分かれたりしてもらおう。	
②かかりのメンバーをきめる。			
7 きまったことのはっぴょう		今日きまったことは、～～です。	
8 ふりかえり		今日のわくわく会（学級会）でよかったことやがんばったことをはっぴょうしてください。 ・ともだちのよかったところやがんばったところをはっぴょうしてもらおう。	
9 先生のお話	10 おわりのことは	先生のお話を聞きましょう。 これでだい9回わくわく会（学級会）を終わります。	ふりかえりカード

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 始めの言葉	・ 会が元気よく始められるように大きな声で言えるように事前に指導する。 ・ 提案者の思いを、全員が理解し、話合いの指針となるよう事前に指導する。	
2 計画委員会の紹介		
3 議題の確認		
4 提案理由やめあての確認		
5 決まっていることの確認		
6 話合い	・ 理由を付けて発表することができるように助言する。 ・ 提案理由や決まっていることを意識した係活動になるよう助言する。 ・ 自治的活動の範囲を超えそうな場合は必要に応じて助言する。 ・ 発言内容が、学級目標「きらきら2の1」に近づいているか問うことで、みんなが楽しくなるという提案理由やねらいに迫ることができるようにする。 ・ 発言者が偏らないように助言するとともに、全員が話合いに参加できるように班での話合いを取り入れるよう助言する。 ・ 少数意見であっても発言の機会を与える。 ・ 自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けることを指導・助言する。	【思考・判断・実践】 ・ 1 学期の活動を振り返り、提案理由を踏まえて、係活動の目的に合った内容や工夫について考え、発言している。 ・ 友達の意見を参考にして新たな意見や折衷案を考えて発言している。 〈観察〉 【知識・理解】 ・ 話合いの進め方や約束を理解している。 〈観察・計画委員会活動計画・学級活動ノート（記述で見取ることができるもの）〉
①どんな係を作るか		
②係のメンバー		
7 決まったことの発表		
8 振り返り		
9 先生のお話	・ 提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・ 計画委員会へのねぎらいの言葉かけとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように声かけをする。	
10 終わりの言葉		

8 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
9月14日(月) 大休憩	・学級会で決まったことを 掲示する。	・決まったことをまとめ て掲示できるように計 画委員会に助言する。	【関心・意欲・態度】 ・係活動に興味をもち、 進んで係活動の計画を 立てている。 〈観察〉
9月14日(月)	・係ごとに給食を食べ、 活動内容について話し 合う。	・今までの係活動を振り 返らせ、みんなが楽し くなるような活動内容 を考えさせる。 ・自分の好きなことや得 意なことが生かせるよ うな活動内容を工夫す るよう助言する	
9月18日(金) わくわくタイ ム	・係ごとに、係活動カー ドを書く。 ・係の活動内容を学級全 体に発表する。	・みんなが楽しくなる活 動内容になっているか 考えさせる。	【思考・判断・実践】 ・学級生活を楽しくする ために、仲良く助け合 って実践している。 〈観察・係カード〉
9月28日(月)	・係活動を協力して実践 する。	・協力したり、工夫した りして活動している児 童を称賛する。 ・自分の態度を振り返り 今後の生活づくりに生 かせるようにするとと もに、友達のよいところ についても認められ るように助言する。	